

2022年度 連結決算概要
2023年度 連結業績予想

説明資料

2023年5月12日（金）

2022年度 連結決算概要

連結対象会社

項目	2021年度末 (A)	2022年度末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	65社	36社	△29社	<ul style="list-style-type: none"> + 株式会社エーピーアイコーポレーション + UBE Corporation America Inc. - 明和化成株式会社 - UBE Advanced Materials INC. - 宇高株式会社 - 一関レミコン株式会社 - 宇部興産海運株式会社 - 宇部興産コンサルタント株式会社 - 宇部サンド工業株式会社 - 株式会社大分宇部 - 株式会社関西宇部 - 株式会社関東宇部ホールディングス - 三信通商株式会社 - 新興運輸倉庫株式会社 - 千葉宇部コンクリート工業株式会社 - 萩森興産株式会社 - 株式会社平泉 - 株式会社北海道宇部
持分法 適用会社数	26社	15社	△11社	<ul style="list-style-type: none"> - 宇部三菱セメント株式会社 - 鹿野宇部コンクリート工業株式会社 - 株式会社釧路宇部 - 別海宇部コンクリート工業株式会社 - やまよ商事株式会社 - 千葉リバーメント株式会社
計	91社	51社	△40社	<ul style="list-style-type: none"> + MAPIC Europe NV - 宇部興産開発株式会社 - Advanced Electrolyte Technologies LLC - 有限会社アールコマ - 宇部建設資材販売株式会社 - 宇部興産建材株式会社 - 宇部興産セメントサービス株式会社 - 宇部マテリアルズ株式会社 - 小澤商事株式会社 - 関東宇部コンクリート工業株式会社 - 関東生コン輸送株式会社 - サンヨー宇部株式会社 - 大協企業株式会社 - 株式会社ニシハリマ宇部 - 萩森物流株式会社 - 株式会社富士宇部 - 北海道宇部運送株式会社 - 北九州宇部コンクリート工業株式会社 - 中四国宇部コンクリート工業株式会社 - 北陸宇部コンクリート工業株式会社 - UBE Singapore Pte., Ltd. - 山口エコテック株式会社

環境要因

項目			2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	112.4	135.5	23.1	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/ t	697	797	100
		国産	円/KL	56,200	76,500	20,300
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	990	1,038	48
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	170.3	393.8	223.5
			円/t	19,133	53,337	34,204

主要項目

(単位：億円)

項目	2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	6,553	4,947	△ 1,605	△ 24.5%
営業利益	440	163	△ 277	△ 63.0%
経常利益	415	△ 87	△ 502	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	245	△ 70	△ 315	—

セグメント別 売上高/営業利益

(単位：億円)

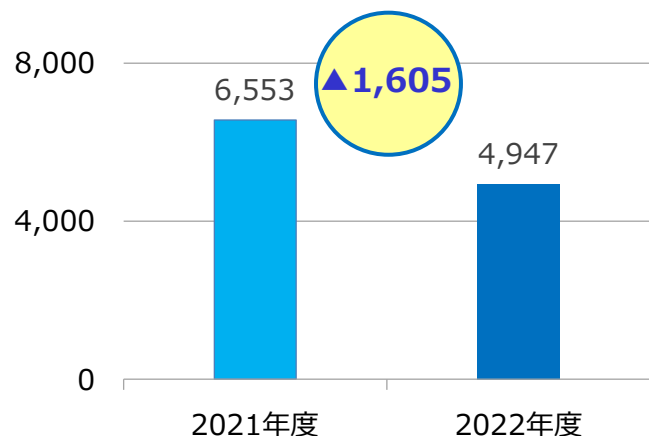
	セグメント*	2021年度	2022年度	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	608	622	14	2.3%
	樹脂・化成品	2,600	2,934	333	12.8%
	機械	970	969	△ 1	△ 0.1%
	その他	542	731	189	34.8%
	調整額	1,832	△ 308	△ 2,140	—
	計	6,553	4,947	△ 1,605	△ 24.5%
営業利益	機能品	116	105	△ 12	△ 10.0%
	樹脂・化成品	235	24	△ 211	△ 89.7%
	機械	51	52	1	1.7%
	その他	35	26	△ 9	△ 25.5%
	調整額	2	△ 45	△ 47	—
	計	440	163	△ 277	△ 63.0%

* : 2022年度より、セメント関連事業の持分法適用関連会社化に伴い、「化学」「建設資材」「機械」「その他」から「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分とし、「医薬」は「その他」に含めています。それに伴い2021年度実績についても比較のため新しいセグメント区分に組み替えており、「建設資材」は「調整額」に含めています。

差異分析 全社

(単位：億円)

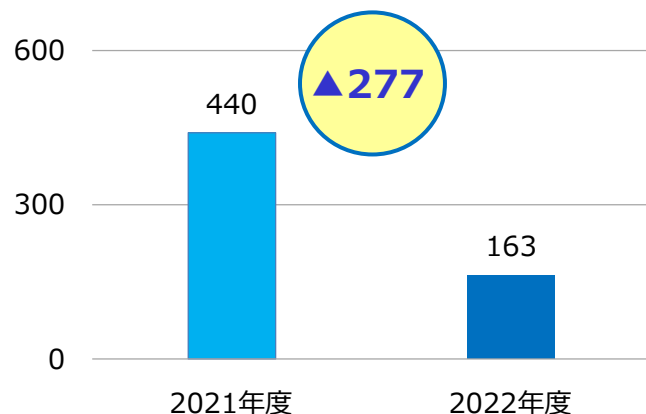
売上高



機能品	14
樹脂・化成品	333
機械	△ 1
その他	189
調整額	△ 2,140

△24.5% 減収

営業利益



機能品	△ 12
樹脂・化成品	△ 211
機械	1
その他	△ 9
調整額	△ 47

△63.0% 減益

定性情報

売上高：減収

- 樹脂・化成品 : 原料市況上昇により販売価格が上昇
- セメント関連 : 事業分割し持分法適用関連会社に移管

営業利益：減益

- 樹脂・化成品 : 原燃料価格上昇、需要減退による販売数量減およびアンモニア工場の定期修理
- セメント関連 : 事業分割し持分法適用関連会社に移管

営業利益差異

価格差 ※1 △ 61

数量差 △ 71

固定費ほか ※2 △ 146

計 △ 277

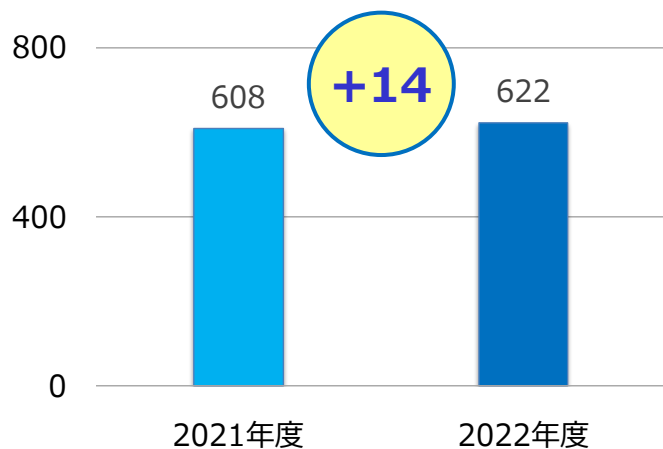
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む
セメント関連事業分割影響含む

差異分析 機能品

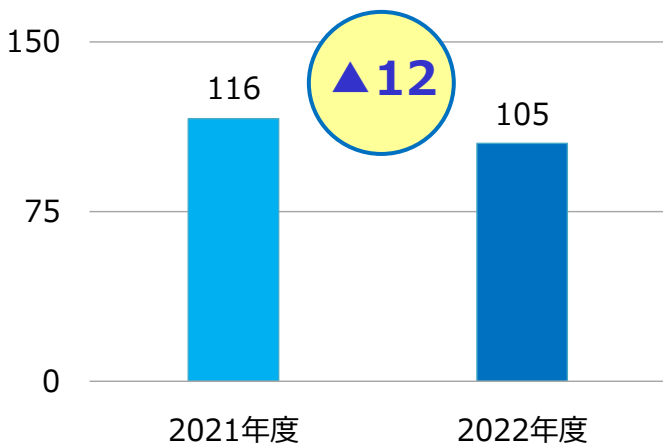
(単位：億円)

売上高



2.3% 増収

営業利益



△10.0% 減益

定性情報

売上高：増収

- ポリイミド : 有機ELパネル向けワニスの販売は堅調に推移する一方、ディスプレイ向けCOFフィルムが在庫調整の影響を受ける
- 分離膜 : バイオガス関連用途を中心に需要が好調
- セラミックス : 軸受や基板用途の需要が好調
- セパレータ : 自動車減産の影響等により販売が減少

営業利益：減益

- ポリイミド : ディスプレイ向けCOFフィルムの在庫調整
- セパレータ : 自動車減産の影響

営業利益差異

価格差 ※1 △ 0

数量差 △ 8

固定費ほか ※2 △ 3

計 △ 12

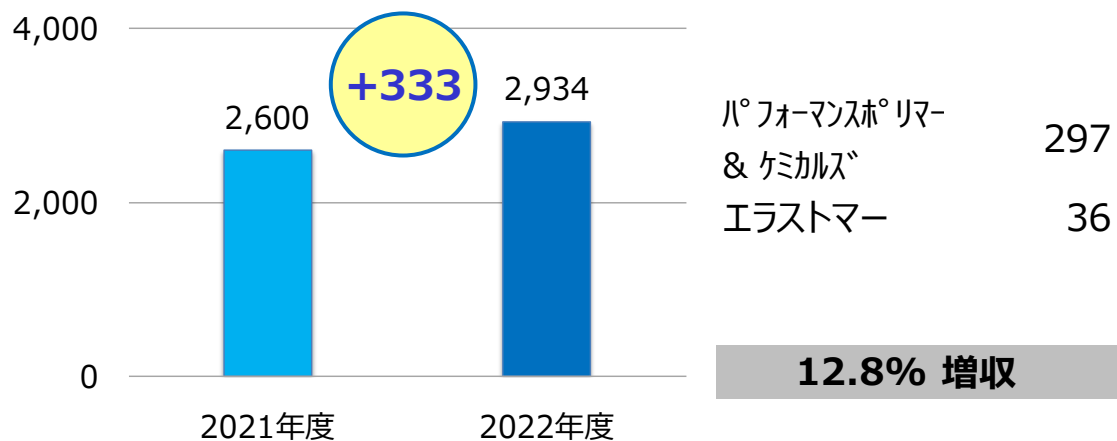
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

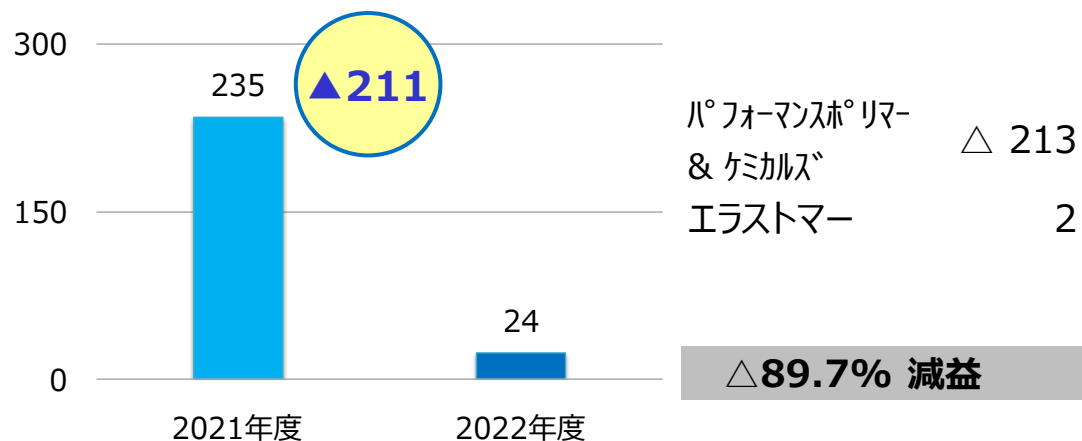
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 自動車向けやナイロン繊維向けの需要が低調に推移したものの、原料市況上昇に伴い販売価格が上昇

営業利益：減益

- 原燃料価格上昇、需要減退による販売数量減およびアンモニア工場の定期修理

営業利益差異

価格差 ※1 △ 60

数量差 △ 72

固定費ほか ※2 △ 80

計 △ 211

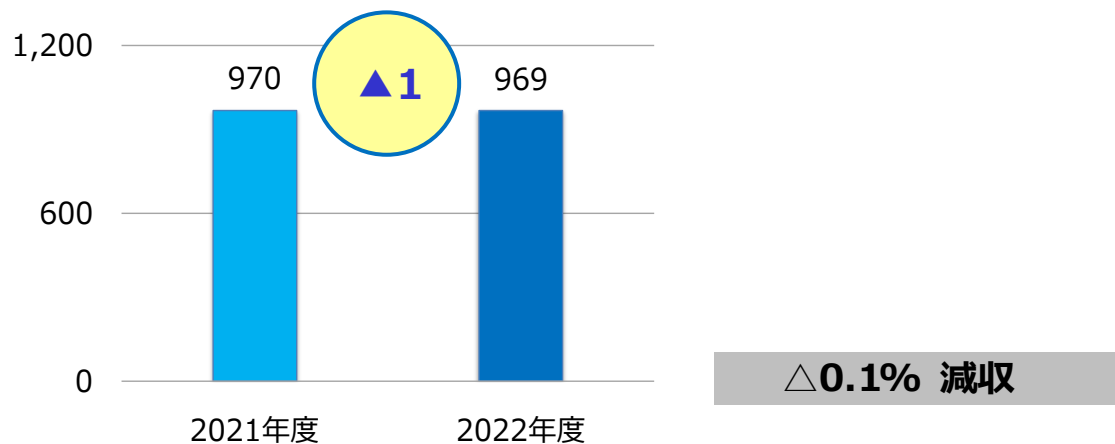
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

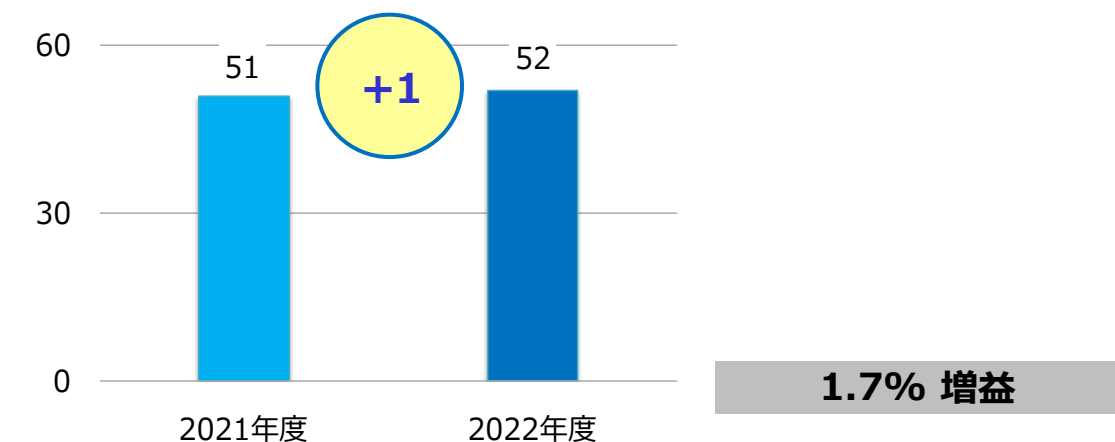
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 成形機 : 自動車産業向けの受注回復に伴い販売増加
- 産機 : 電力会社向け運搬機等の大型案件が一巡
- 製鋼 : 原料価格上昇等により販売価格が上昇

営業利益：増益

- 成形機 : 自動車産業向けの受注回復に伴い販売増加
- 製鋼 : 原料価格上昇等により販売価格が上昇

営業利益差異

価格差 ※1	5
数量差	△ 1
固定費ほか ※2	△ 2
計	1

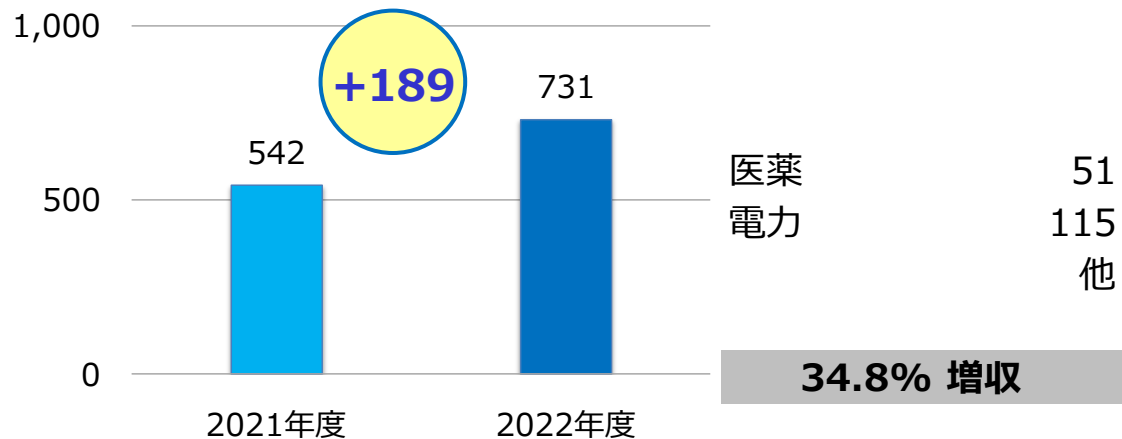
※1：資材単価差含む

※2：内、機械部門限界利益 5

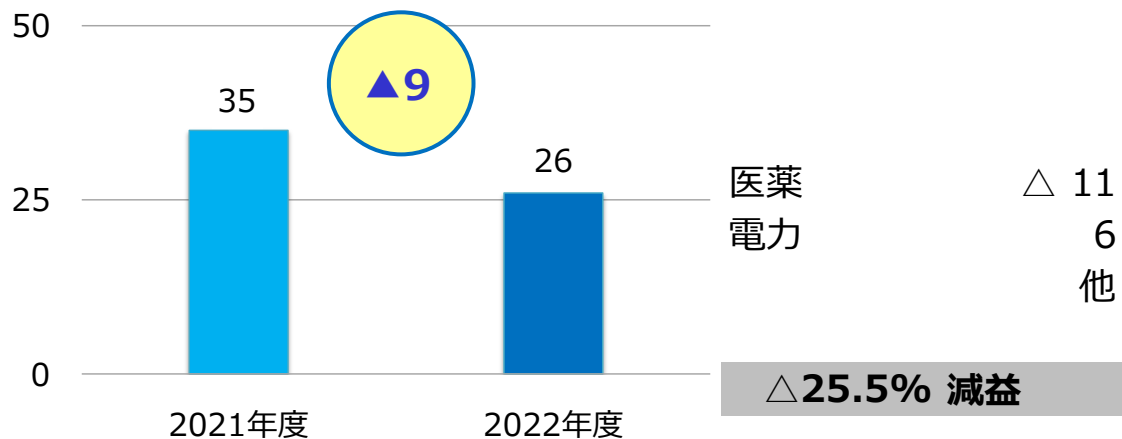
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 医薬 : エーピーアイ社を連結子会社化。自社医薬品および受託医薬品の販売が堅調に推移
- ・ 電力 : セメント関連事業への電力供給を売上計上、売電価格も上昇

営業利益：減益

- ・ 医薬 : ロイヤリティ収入の減少
- ・ 電力 : 売電価格は上昇

営業利益差異

価格差 ※1 △ 5

数量差 10

固定費ほか ※2 △ 14

計 △ 9

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差含む

営業利益～当期純利益

(単位：億円)

項目	2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	440	163	△ 277
営業外損益	△ 25	△ 250	△ 225
金融収支	3	7	3
持分法による投資損益	△ 19	△ 231	△ 212
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益		△ 246	
為替差損益	17	5	△ 11
その他	△ 26	△ 30	△ 5
経常利益	415	△ 87	△ 502
特別損益	△ 48	61	108
税金等調整前当期純利益	368	△ 26	△ 394
法人税等・非支配株主利益	△ 123	△ 44	79
親会社株主に帰属する当期純利益	245	△ 70	△ 315
1株当たり当期純利益	249.31円	△ 72.25円	△ 321.56円

貸借対照表

(単位：億円)

項目		2021年度末 (A)	2022年度末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	3,947	2,830	△ 1,117
	固定資産	4,431	4,485	53
	合計	8,380	7,316	△ 1,063
負債	有利子負債	2,418	2,181	△ 237
	その他負債	2,021	1,318	△ 703
	計	4,439	3,500	△ 939
純資産	自己資本 *1	3,691	3,616	△ 75
	非支配株主持分他	249	200	△ 49
	計	3,940	3,817	△ 124
負債・純資産合計		8,380	7,316	△ 1,063

*1:「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

項目	2021年度	2022年度	
A.営業活動によるCF	327	181	税金等調整前当期純損失 △26 減価償却費 254 持分法による投資損失 231 持分変動利益 △83 運転資金の増減 △124 法人税等の支払 △84 他
B.投資活動によるCF	△ 434	△ 260	短期貸付金の増減 82 有形・無形固定資産の取得 △268 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 △73 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 107	△ 79	
C.財務活動によるCF	84	24	有利子負債の増減 143 配当金の支払 △106 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 9	△ 481	会社分割に伴う減少 △433 他
E.現金及び現金同等物の当期末残高	788	307	

2023年度 連結業績予想

連結対象会社

項目	2022年度末 (A)	2023年度末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	36社	36社	0社	
持分法 適用会社数	15社	15社	0社	
計	51社	51社	0社	

環境要因

項目			2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	135.5	130.0	△ 5.5	
資材 価格	ナフサ	CIF	\$/ t	797	740	△ 57
		国産	円/KL	76,500	68,900	△ 7,600
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	1,038	920	△ 118
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	393.8	224.0	△ 169.8
			円/t	53,337	29,120	△ 24,217

主要項目

(単位：億円)

項目	2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,947	5,450	503	10.2%
営業利益	163	300	137	84.2%
経常利益	△ 87	385	472	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 70	275	345	—

項目	2022年度末 (A)	2023年度末 (B)	差異 (B) - (A)
総資産	7,316	7,880	564
有利子負債	2,181	2,480	299
自己資本 *1	3,616	3,780	164
年間配当金 (円/株)	*2 95.00	*3 100.00	5.00

*1: 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

*2: 95.00円 (中間配当金50.00円、期末配当金45.00円)

*3: 100.00円 (中間配当金50.00円、期末配当金50.00円)

セグメント別 売上高/営業利益

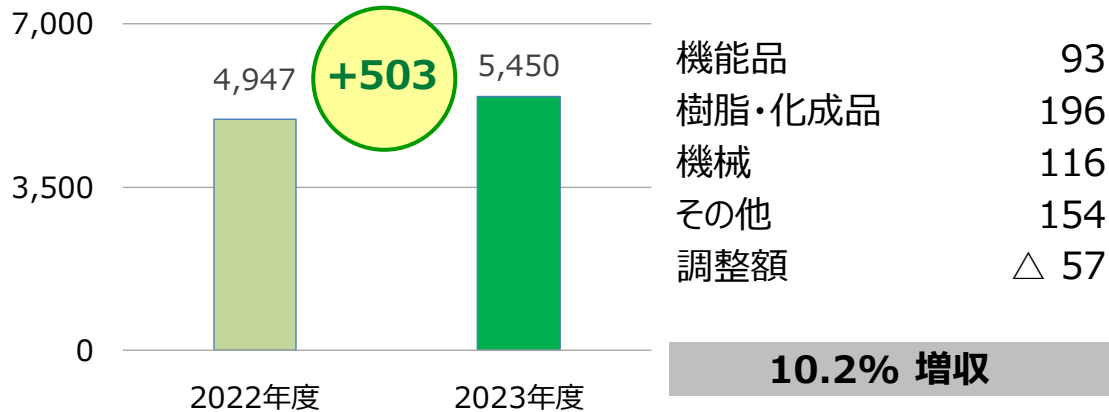
(単位：億円)

	セグメント	2022年度	2023年度	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	622	715	93	15.0%
	樹脂・化成品	2,934	3,130	196	6.7%
	機械	969	1,085	116	11.9%
	その他	731	885	154	21.1%
	調整額	△ 308	△ 365	△ 57	—
	計	4,947	5,450	503	10.2%
営業利益	機能品	105	125	20	19.5%
	樹脂・化成品	24	120	96	394.6%
	機械	52	60	8	15.1%
	その他	26	35	9	32.4%
	調整額	△ 45	△ 40	5	—
	計	163	300	137	84.2%

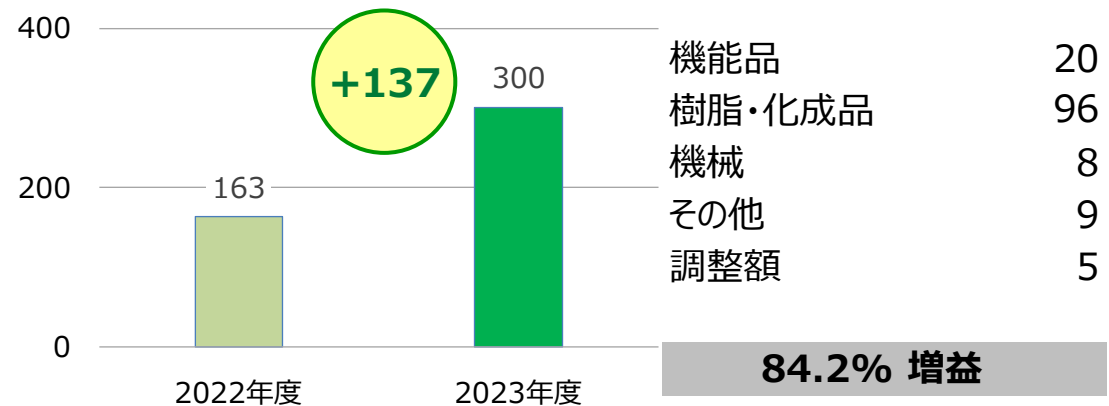
差異分析 全社

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 樹脂・化成品 : 全般的に需要が回復
- その他 : エーピーアイ社を連結子会社化

営業利益：増益

- 機能品 : 分離膜の販売好調、セパレータの販売回復
- 樹脂・化成品 : 全般的に需要が回復、原燃料価格は一定程度下落

営業利益差異

価格差 ※1 55

数量差 99

固定費ほか ※2 △ 17

計 137

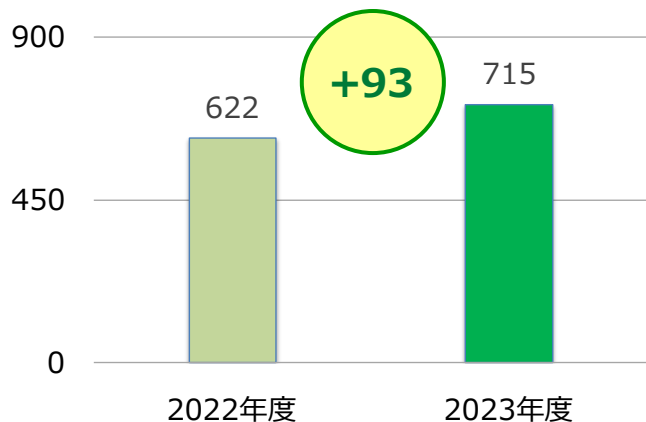
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

差異分析 機能品

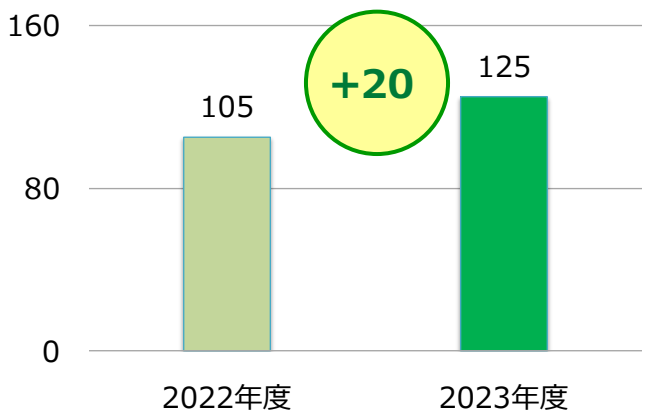
(単位：億円)

売上高



15.0% 増収

営業利益



19.5% 増益

定性情報

売上高：増収

- ポリイミド : 有機EL向けワニス等の販売拡大
- 分離膜 : バイオガス関連用途を中心に販売拡大
- セパレータ : 自動車生産の回復に伴い販売増加

営業利益：増益

- 分離膜 : バイオガス関連用途を中心に販売拡大
- セパレータ : 自動車生産の回復に伴い販売増加

営業利益差異

価格差 ※1 △ 1

数量差 33

固定費ほか ※2 △ 12

計 20

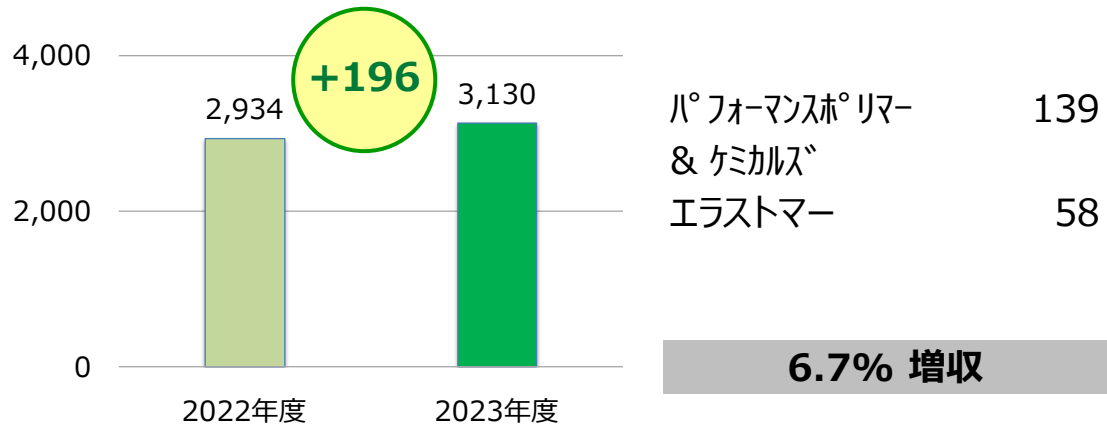
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

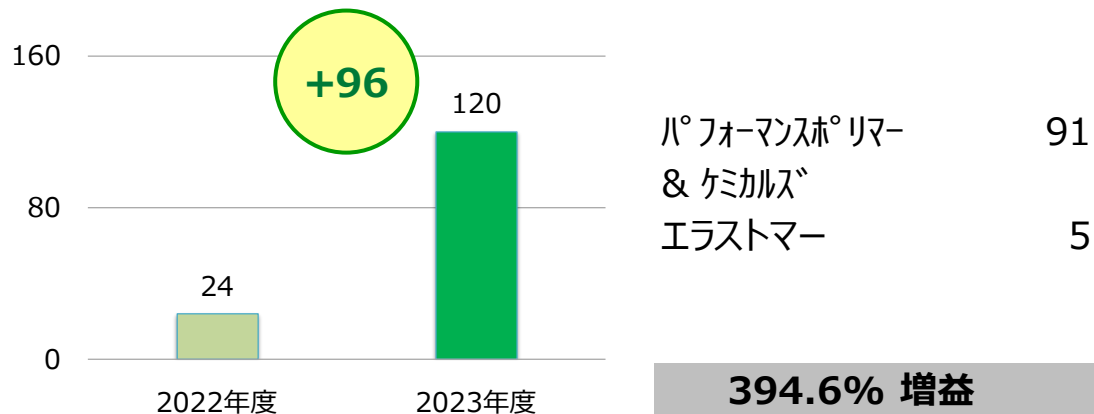
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ナイロンポリマー : 食品包装用フィルム等の需要回復
- 工業薬品 : 隔年実施の定期修理がなかったため販売増加
- エラストマー : 自動車生産の回復に伴い販売増加

営業利益：増益

- ナイロンポリマー : 食品包装用フィルム等の需要回復
- ラクタム・硫安 : 原燃料価格は一定の下落

営業利益差異

価格差 ※1 50

数量差 61

固定費ほか △ 16

計 96

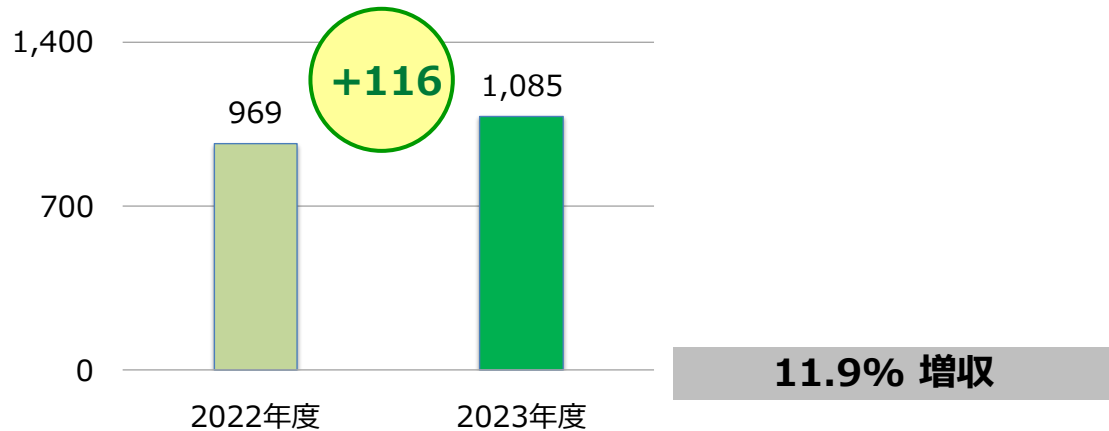
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

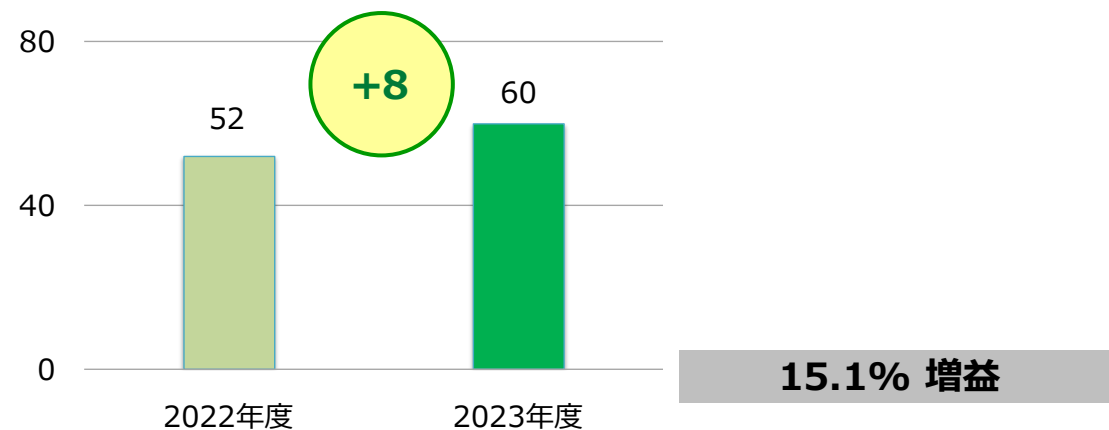
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 成形機 : 自動車向けの販売増加

営業利益：増益

- 成形機 : 自動車向けの販売増加
- 製鋼 : 一部製鋼品の販売増加

営業利益差異

価格差 ※1 △ 0

数量差 5

固定費ほか ※2 3

計 8

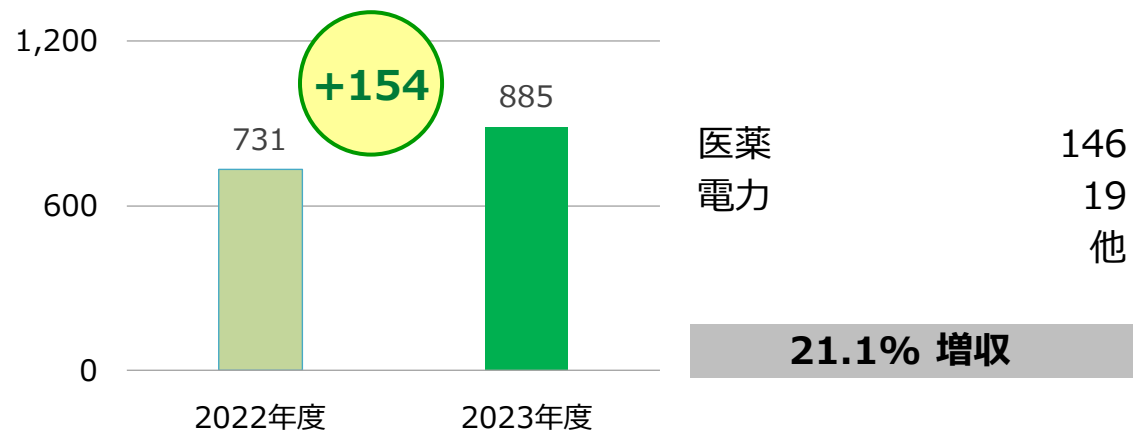
※1：資材単価差含む

※2：内、機械部門限界利益 21

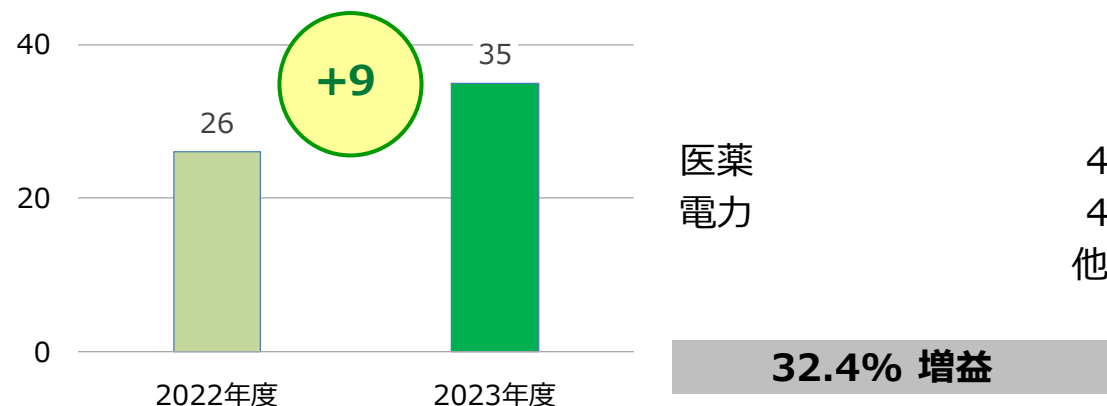
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 医薬 : エーピーアイ社を連結子会社化

営業利益：増益

- ・ 医薬 : ロイヤリティ収入増加
- ・ 電力 : 隔年実施の定期修理がなかったため販売増加

営業利益差異

価格差 ※1	6
数量差	△ 1
固定費ほか ※2	3
計	9

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～当期純利益

(単位：億円)

項目	2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	163	300	137
営業外損益	△ 250	85	335
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益	△ 246	80	326
経常利益	△ 87	385	472
特別損益	61	△ 35	△ 96
税金等調整前当期純利益	△ 26	350	376
法人税等・非支配株主利益	△ 44	△ 75	△ 31
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 70	275	345
1株当たり当期純利益	△ 72.25円	283.39円	355.64円

參考資料

営業利益 差異分析 一覧

(単位：億円)

セグメント	営業利益					
	2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)	価格差 *1	数量差	固定費ほか *2
機能品	116	105	△ 12	△ 0	△ 8	△ 3
樹脂・化成品	235	24	△ 211	△ 60	△ 72	△ 80
機械	51	52	1	5	△ 1	*3 △ 2
その他	35	26	△ 9	△ 5	10	△ 14
調整額	2	△ 45	△ 47	-	-	△ 47
計	440	163	△ 277	△ 61	△ 71	△ 146

*1:資材単価差含む *2:在庫評価差、低価法影響含む *3:内、機械部門限界利益 5

売上高 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2022年度				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	153	165	156	148	622
樹脂・化成品	714	780	757	682	2,934
機械	203	249	240	276	969
その他	156	178	173	225	731
調整額	△ 65	△ 86	△ 91	△ 67	△ 308
計	1,162	1,286	1,236	1,263	4,947

営業利益 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2022年度				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	28	27	30	19	105
樹脂・化成品	19	5	9	△ 9	24
機械	4	9	14	26	52
その他	7	6	5	9	26
調整額	△ 14	△ 5	△ 13	△ 13	△ 45
計	44	42	45	33	163

売上高 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2022年度 第3四半期 (A)	2022年度 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	156	148	△ 9	
樹脂・化成品	757	682	△ 76	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 59 エラストマー △ 17
機械	240	276	36	
その他	173	225	52	医薬 47 電力 △ 4 他
調整額	△ 91	△ 67	24	
計	1,236	1,263	27	

営業利益 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2022年度 第3四半期 (A)	2022年度 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	30	19	△ 11	
樹脂・化成品	9	△ 9	△ 17	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 4 エラストマー △ 13
機械	14	26	12	
その他	5	9	4	医薬 4 電力 △ 2 他
調整額	△ 13	△ 13	△ 0	
計	45	33	△ 12	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位：億円)

	ポートフォリオ	2022年度	2023年度	差異
		(A)	(B)	(B) - (A)
売上高	スペシャルティ事業	1,382	1,650	269
	ベーシック事業	2,369	2,520	151
	機械事業	969	1,085	116
	その他（調整額を含む）	228	195	△ 33
	計	4,947	5,450	503
営業利益	スペシャルティ事業	183	200	17
	ベーシック事業	△ 32	70	102
	機械事業	52	60	8
	その他（調整額を含む）	△ 40	△ 30	10
	計	163	300	137

UBE三菱セメント

■ UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位：億円)

項目	2022年度	2023年度
売上高	5,763	6,700
営業利益	△284	250
経常利益	△258	255
親会社株主に帰属する当期純利益	△473	145

■ UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資損失	△246	80
------------	------	----

- 2022年4月よりUBE三菱セメント株式会社として営業を開始
- 国内事業は、熱エネルギー価格高騰による厳しい事業環境の中、二段階にわたるセメント値上げ、構造改善（青森工場、伊佐1号キルン停止）および安価熱エネルギーの使用拡大等の損益改善対策を実施
- 米国事業は、セメント・生コン供給体制整備に加え、値上げを実施
- 2022年度は、事業環境の悪化および構造改善費用の計上により赤字となったが、2022年度に打ち出した損益改善対策を推進し、2023年度は黒字化を見込む

■ UBE三菱セメント(株) 環境要因

項目	2022年度	2023年度
セメント（国内総需要） （万t）	3,724	3,800
セメント（国内）販売数量 （万t）	909	928
セメント（米国）販売数量 （万st）	163	169
生コン（米国）販売数量 （万cy）	674	748
石炭価格 （\$/t）	356	370
ドル為替レート （円/ドル）	135	130

(参考) 2022年度末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	7,727	有利子負債	2,175	自己資本	3,198
自己資本比率	41.4%	D/Eレシオ	0.68倍		

連結主要指標

(単位：億円)

項目	2021年度	2022年度	2023年度 <予想>
設備投資	396	293	475
減価償却費	365	254	245
研究開発費	118	104	110
事業利益	433	△ 54	410
有利子負債残高	2,418	2,181	2,480
自己資本	3,691	3,616	3,780
総資産	8,380	7,316	7,880
D/Eレシオ (倍)	0.66	0.60	0.66
自己資本比率(%)	44.1	49.4	48.0
売上高営業利益率(%)	6.7	3.3	5.5
総資産事業利益率(%)	5.4	△ 0.7	5.4
自己資本利益率(%)	6.7	△ 1.9	7.4
従業員数 (人)	9,849	8,028	8,150

主要連結子会社

(単位：億円)

会社名	事業内容	売上高	営業利益
		2022年度	対2021年度
UBE Corporation Europe, S.A. Unipersonal	ナイロン、カプロラクタム、硫安、ファイン製品の製造・販売	718	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	ナイロン、カプロラクタム、硫安の製造・販売	507	↓
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエンゴムの製造・販売	189	→
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	108	↓
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	128	↓
UBEマシナリー株式会社	成形機・産業機械・橋梁などの製造・販売・サービス	493	→
株式会社宇部スチール	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	322	↑

(注) ↑ ↓ は 1 億円以上の増減を示す

セグメント別 上期・下期 内訳

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期	下期	計	上期	下期	計
機能品	340	375	715	55	70	125
樹脂・化成品	1,530	1,600	3,130	30	90	120
機械	480	605	1,085	15	45	60
その他	420	465	885	10	25	35
調整額	△ 180	△ 185	△ 365	△ 20	△ 20	△ 40
計	2,590	2,860	5,450	90	210	300

設備投資主要案件

セグメント	件名	場所	完工時期
機能品	ポリイミド原料モノマー(BPDA)工場 増設	宇部	2023年度
	ポリイミドフィルム工場 増設	宇部	2024年度
	分離膜工場 増設	宇部 堺	2025年度

2023年度 経営概況説明会 および 2023年度 第1四半期決算発表

➤ **2023年度 経営概況説明会**

- **5月23日 10:00 ~ 11:30**

➤ **2023年度 第1四半期 決算発表**

- **8月4日 15:00**

➤ **2023年度 第1四半期 決算発表 アナリスト・機関投資家向け電話会議**

- **8月4日 18:00 ~ 18:45**

尚、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。